

**製品名: WISP-3 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab19906**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	55kDa

**抗原情報**

遺伝子名	WISP3 CCN6 UNQ462/PRO790/PRO956
別名	WNT1-inducible-signaling pathway protein 3 (WISP-3) (CCN family member 6)
遺伝子 ID	8838.0
SwissProt ID	O95389
免疫原	抗血清はヒト WISP3 の N 末端領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 1-50

**背景**

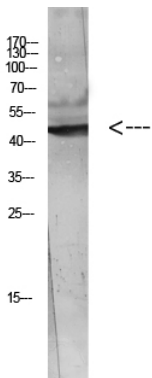
この遺伝子は、結合組織増殖因子 (CTGF) ファミリーに属する WNT1 誘導性シグナル伝達経路 (WISP) タンパク質サブファミリー

のメンバーをコードしています。WNT1は、多様な発達過程を媒介する、システインに富む糖鎖シグナル伝達タンパク質ファミリーのメンバーです。CTGFファミリーのメンバーは、インスリン様成長因子結合ドメイン、フォン・ヴィレブランド因子C型モジュール、トロンボスポンジンドメイン、C末端シスチンノット様ドメインという4つの保存されたシステインに富むドメインを特徴としています。この遺伝子は結腸腫瘍で過剰発現しています。これは、悪性転化に関連するWNT1シグナル伝達経路の下流に位置する可能性があります。この遺伝子の変異は、常染色体劣性骨格疾患である進行性偽関節様異形成症と関連しており、この遺伝子が正常な出生後の骨格成長と軟骨の恒常性維持に不可欠であること示唆しています。多発性疾患：WISP3遺伝子の欠損は、小児進行性偽関節リウマチ (PPAC) [MIM:208230]の原因です。PPACは常染色体劣性遺伝性疾患で、関節のこわばりと腫脹、運動機能低下、関節拘縮を特徴とします。本疾患の徴候と症状は、典型的には3歳から8歳の間に発現します。この進行性疾患は、加齢に伴う軟骨の継続的な喪失と骨の破壊的变化を伴う関節軟骨の原発性疾患です。機能：出生後の正常な骨格成長と軟骨の恒常性維持に必要と考えられます。類似性：CCNファミリーに属します。類似性：CTCK (C末端シスチンノット様) ドメインを1つ含みます。類似性：IGFBP N末端ドメインを1つ含みます。類似性：TSPタイプ1ドメインを1つ含みます。組織特異性：成人の腎臓、精巣、胎児の腎臓で主に発現します。胎盤、卵巣、前立腺、小腸では弱い発現が見られます。また、滑膜細胞や関節軟骨軟骨細胞などの骨格由来細胞でも発現します。、

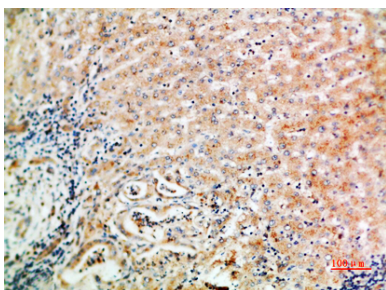
## 研究分野

免疫学; 分泌分子; CCNファミリー; 幹細胞; シグナル伝達経路; Wnt; 分泌; 間葉系幹細胞; 分泌分子

## 画像データ



抗体を用いたHela細胞溶解液のウェスタンブロット分析。二次抗体は1:20000に希釈した。



パラフィン包埋ヒト肝癌の免疫組織化学分析、抗体は1:200に希釈された。